

憲法を守り・いかすこと

いのち・暮らしを守るのが政治の役目

岸田首相は、自民政治の裏金問題で国民の怒りをそらすため、ロシアのウクライナ侵略や、中国の海洋進出などの動きに乗じて、改憲発議を任期中したいと、意欲を燃やしています。

2024年度政府予算の軍事費は約8兆円。2年前に比べて1.5倍です。ミサイルの購入、自衛隊基地の強じん化、日米軍事訓練などの戦争準備に使うためです。「武器の輸出はしません」とした、歴代内閣の約束を反故にして外国と共同開発し、次期戦闘機輸出促進に踏み出しています。

私たちは改憲と、戦争する国づくりの軍拡が同時に進行する異常な事態を見過ごす事は出来ません。



生かそう “長岡京市・平和都市宣言”

長岡京市は2000年12月に「いのち輝く長岡京市平和都市宣言」を採択し、「私たちは薄れつつある戦争の記憶を常に新たにし、その悲惨と災禍の歴史から、平和の尊さをくみとっていかねばなりません。」と記した記念碑を JR 長岡京駅東ロータリーに設置しています。

植えよう平和の祈り「陽光桜」

「伯方の塩」創業者の高岡氏が多くの教え子を戦死させたという自責の念から開発した「陽光桜」を、長岡京市のボランティア団体が毎年50本地域の公園等に植樹し、今や700本をこえているとお聞きしています。



9氏アピールに応え、長岡京市で「9条の会」結成20年

2004年、井上ひさしさん、大江健三郎さん、澤地久枝さんら9名の方々が「日本国憲法を守り、とりわけ「9条」の精神を世界に広げ、平和を築こうと呼びかけられました。このアピールに応え、長岡京市でも「憲法9条の会」を結成し20年を迎えます。

私たち9条の会は、「あきらめず行動する」をモットーに9日（JR 長岡京）19日（八条が池交差点）で平和への思いを訴える行動をおこなっています。

どうぞ一緒に、貴方の歩幅で、平和を願う声を上げていきましょう。